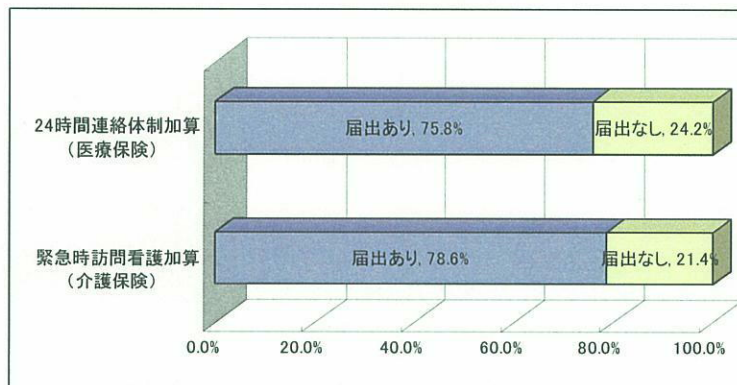
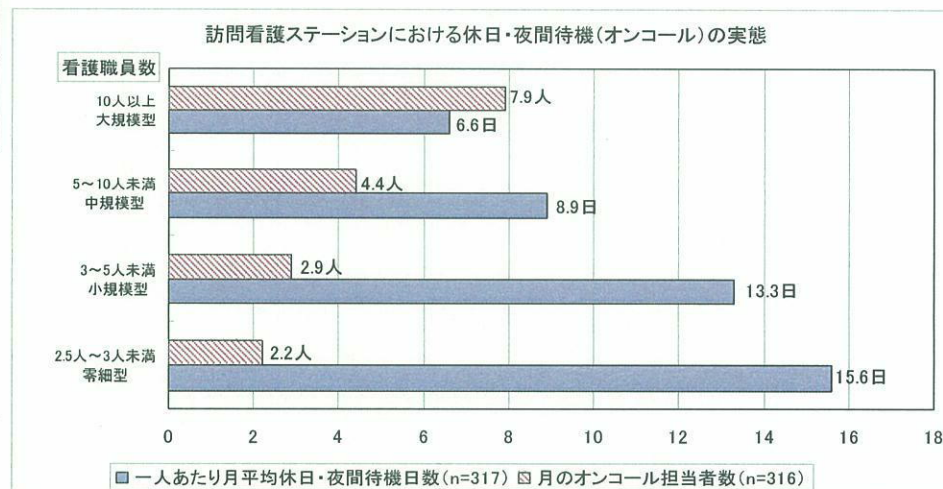


24時間オンコール対応の負担



出典: 厚生労働省平成17年度介護サービス・施設事業所調査

- 8割弱のステーションが24時間対応を行っている。
- 医療機器装着者など、夜間のトラブル発生があるため、職員の負担感が大きい。



出典: 平成18年度「訪問看護ステーションと在宅療養支援診療所との連携に関する研究」日本看護協会

- 小規模ステーションでは、職員1人が24時間オンコール対応を行う回数が多い。
- 特に、零細型(3人未満)では、平均15.6日(2日に1回)夜間携帯を持参して自宅で待機しており、職員にかかる負担が非常に大きい。